

ジーニアスインダグリツシユ

早わかり

(よくあるお問い合わせ集)

二〇一八年版



GEIPA日本マーケティング部門 刊

早わかり・内容一覧

第零章 頻出問題

- 0-1：初日に授業はありません
- 0-2：アメニティと貸出の品物について
- 0-3：追加授業について

第一章 学校選定段階

- 1-1：学校の特徴は
- 1-2：国籍比率は？
- 1-3：お部屋タイプの違い、メリット・デメリット。
- 1-4：親子留学は？
- 1-5：入学の年齢
- 1-6：年齢層は？未成年・シニアでも大丈夫？
- 1-7：事前にビザは？
- 1-8：初学者でも大丈夫？
- 1-9：保険について
- 1-10：申込みはいつまでに？
- 1-11：訛り・発音は？
- 1-12：英語力はどう伸びる？期間はどれくらいが良い？
- 1-13：気候について、いつが良い？
- 1-14：リピーター特典は
- 1-15：週の途中入学・途中卒業は？
- 1-16：チェックイン日-チェックアウト日は？
- 1-17：延泊や前泊について
- 1-18：祝日など学校休校日のサービス
- 1-19：キャンセルの場合は？
- 1-20：申し込み後の期間の変更

第二章 留学準備段階

- 2-1：アメニティや学校の貸出の品は？
- 2-2：事前の両替は必要か
- 2-3：コンセントの形状と電圧の違い・変圧器について
- 2-4：ピックアップの対応時間について
- 2-5：到着時のご飯について
- 2-6：写真の準備は必要か
- 2-7：持ち物リスト(虫除け・生活必需品は買える？)

第三章 初日の流れ

- 3-1：初日の流れ
- 3-2：パスポートの扱い
- 3-3：現地費用について

第四章 生活

- 4-1：事前に時間割を教えてください
- 4-2：ジム・プール・自習室について
- 4-3：食事について
- 4-4：洗濯について
- 4-5：掃除について
- 4-6：治安について
- 4-7：電気代はいくらくらい？

第四章 生活

- 4-8 : 部屋の設備
- 4-9 : シャワーについて(水圧・お湯)
- 4-10 : トイレについて
- 4-11 : インターネット環境・Wi-Fi環境について
- 4-12 : キッチンが欲しい!
- 4-13 : コースの途中変更
- 4-14 : 授業形態について
- 4-15 : タクシーについて、乗り方は?
- 4-16 : 学校周辺の施設
- 4-17 : ボランティア活動はあるの?
- 4-18 : 現地の携帯電話は必要か?
- 4-19 : 荷物を送る場合
- 4-20 : 服装は?
- 4-21 : 週末の過ごし方
- 4-22 : アクティビティについて
- 4-23 : 日本人スタッフはいるの?
- 4-24 : 病気になったら?

第五章 帰国時

- 5-1 : 空港へ
- 5-2 : いくら残しておけば良い?
- 5-3 : チェックアウトの時間は?

第零章 頻出問題

0-1：初日に授業はありません。 では、どうなるの…？

日曜日に学校に到着した後、最初の月曜日は(月曜日が祝日では無い場合)オリエンテーションやレベルチェックテスト、これから生活するための準備や現地費用の支払いのために「買い物・両替ツアー」に出かけたりします。

これらは通常午前9時から始まり、途中お昼休み等を挟みながら夕方近くまでかかります。その為、初日には授業は行われません。

とはいえ、短期留学などで1日もムダにしたいくない！という方もいると思います。そういった方には有料のオプションとなりますが、初日の午後から最大4コマの授業を受けることが可能です。

買い物ツアー等は無し、要事前申し込み、Generalコースのみのご提供、マンツーマンのみ最大4コマ、正規の時間割とは異なるその日のみの時間割(テスト後すぐに正規の時間割が用意できない為)など、制約はありますが短期留学の方は選択肢として考えてみて下さい。

0-2：アメニティと貸出の 品物について

学校の寮はリゾートホテルの敷地内にありますが、ホテルとは全く別の建物です。ですのでお部屋にはタオルやドライヤーなどといったアメニティの品物は一切ございません。トイレットペーパーのみ、例外として最初のひとつだけ備え付けてあります。以降補充分はスーパーなどで購入の必要があります。

また貸出のドライヤーや扇風機、ポケットWi-Fiといったものもございません。

ですので、ご使用になれるものは全て日本から持参するか、現地で購入する必要があります。大抵のものは現地で購入可能ですが、こだわりのものや、お気に入りのブランドなどがある場合は日本から持参した方が良いでしょう。

電子機器については電圧の違いに注意が必要です。まず大抵、機器の破損・発煙などをおこします。第二章で詳細に説明していますので参照して下さい。

0-3：追加授業について

追加授業は上述した、初日の午後のみ可能です。土日祝日などへの追加授業は承っておりません。

また平日も授業の追加はできません。コースの変更でのみ、対応しております。コース変更については第四章にて説明されます。

第一章:イ 学校選定段階

1-1 : 学校の特徴は

ジーニアスイングリッシュの特徴はまず、国際色豊かな生徒環境ということです。日本資本の学校ではほぼ日本人のみ、韓国資本の学校ではほぼ韓国人のみ、というのがセブの学校の通例です。弊校はロシア資本という強みを活かし、多用な国籍状況を実現しています。詳細は右の項目で。

次にリゾートコンドミニウムを使用した快適な宿泊施設環境です。広々としたお部屋やシービューのお部屋など、通常の語学学校と比べるとその差がハッキリわかると思います。

そしてセブでも珍しいネイティブ講師。ネイティブはグループを担当するので誰でもネイティブクラスを持っており、またコースによってはマンツーマンを受けられるのも魅力です。

フィリピン人講師も全員フルタイム契約のプロフェッショナル。毎週土曜日にトレーニングやテストを行っています。

1-2 : 国籍比率は？

学校としては常にバラエティに富んだ国籍比率を目指していますが、国籍比率は時期によって大きく異なります。日本人のハイシーズンに留学すれば日本人が多いのは当然のように、他の国籍にもシーズンによって多少の増減があります。毎年例年通り推移する保証はありませんが、日本人のハイシーズンは決まっています。

8-9月いっぱい、1月末-3月いっぱいには主に日本人学生の長期休暇にあたるため、お盆前後のお休みは誰にとってもお休みであるため日本人が多くなる傾向にあります。逆に日本人の休みはまだ始まってはいないけれど、他の国籍が既に休みに入っている6-7月は1年で最も他の国籍の人数が多い時期といえます。

過去の統計を取った具体的な資料が弊校のパンフレットに記載されておりますので、理想とする留学はいつならば実現できるか検討してみてください。

1-3 : お部屋タイプの違い メリット・デメリット。

ジーニアスイングリッシュでは1人部屋~3人部屋まであります。2人部屋にはベッドが2つあり、3人部屋には3つあり、同室滞在のルームメイトがいます。4人部屋はもっとも料金が安く設定されていますので費用を抑えたい人におすすめです。

電気代はルームメイトがいる場合は均等に頭割りとなりますので、人数が多いほど抑えられる傾向にあります。ですが、1人部屋と違い、その分エアコンを使うかどうかなどもしっかり話し合っただけでルールを決めたほうが良いでしょう。また4人部屋だと、朝シャワーを浴びるのも同じ時間に4人が集中してしまったりトイレも…なんてこともあるでしょう。授業外など一緒に過ごす時間もあるので、相手に配慮する必要もあります。

反面、確約できる訳ではありませんが、なるべくルームメイトは国籍が混ざるように配慮しています。ルームメイトが他の国籍だと、日常生活でも英語が使えるという利点があります。

1-4 : 親子留学は？

残念ながら弊校には「親子留学コース」はありません。親御様とお子様で留学される場合、それぞれ弊校でご提供するコースを受講して頂く、という形になります。もちろん、内容はレベルに合わせたものになりますが、お子様の最低受け入れ年齢は9才以上となっております。

つまり、親御様もお子様もそれぞれ独立した生徒様として扱うこととなります。またお部屋は同室滞在になるかと思えます。同室滞在はお部屋のご用意が難しくなりますので、ご検討の場合は早めのお申込みをおすすめいたします。

第一章: □ 学校選定段階

1-5 : 入学の年齢

最低のお受け入れの年齢は9才からとなっています。

またチームリーダー(引率者)や保護者の同伴ではない単独留学のお受け入れは16才以上からとさせていただきます。

上の年齢制限は設けておりませんが、基本的には自力で生活できることが前提となります。こちらは事前にご相談下さい。

1-6 : 年齢層は? 未成年 シニアでも大丈夫?

年齢層は基本的には30前後がメインです。50代や60代の層も珍しくありません。ですがどうしても学生の休みのシーズンは学生の割合が普段に比べて増えますので、平均年齢は低下します。学校の雰囲気も落ち着いた雰囲気から賑やかな雰囲気になりますので、どちらが良いか検討してみてください。

未成年・シニアでも留学は大丈夫ですが、入学条件は前項で示した通りとなります。

1-7 : 事前にビザは?

事前にビザの取得の必要はありません。日本国籍であれば入国の際に30日滞在できる入国許可を貰えます。以降必要な場合は学校が延長の手続きを行いますので、事前取得の必要はありません。SSPなどの留学資格も到着後の取得で問題ありませんので、極端な話ビザ関係は事前には何の用意もなくて大丈夫です。

まれに30日以上滞在の場合はビザが無いと航空券は売れない、と言われたという話を聞きますが、そういう場合は航空会社で直接買うなどの手段を当たってみて下さい。

1-8 : 初心者でも大丈夫?

フィリピン留学は1:1授業が多く初心者向けです。またもちろんレベルチェックテストでレベルに適した授業が展開されるので安心して下さい。

とはいえ、費用対効果を考えると、勉強できるだけ日本でしてきた方が、留学中により高度な勉強が出来ます。極端な話、アルファベットを学ぶ授業もできますが、アルファベットくらいは日本で覚えてきたほうがより、海外で勉強する意味があることができるでしょう。これは単語や文法も然りです。

また授業内容は全て英語で展開されるので、やはり日本で備えられるだけ備えると、より充実した留学になるでしょう。

ビジネスコースやIELTS・TOEFL・TOEICは初心者には向きません。それぞれ受講するために求められる制限が有りますので注意して下さい。

第一章:八 学校選定段階

1-9 : 保険について

海外保険の加入は必須ではありませんが、病気になるって入院、交通事故にあって病院など、予測ができるものではありません。

また入院まで行かずとも、海外のなれない環境で体調を崩し、病院に行きたいけれども保険がなくて我慢してズルズル悪化してしまい、留学がムダになってしまったり…ということも考えられるでしょう。

最近クレジットカード付帯のものなど費用があまり気にならないものもあります。フィリピンでは保険が無ければ、ある程度の現金を持っていない場合は診てくれません。逆に保険があれば大抵は疾病障害が無制限なのを良いことに露骨にVIP扱いになります。

保険を選ぶときは疾病障害が無制限のものと、キャッシュレスで病院に行けるものを選びましょう。

1-10 : 申込みはいつまでに？

お申込みは基本は3週間前までですが、空きがあって支払いが入学までになされるのであればギリギリでも申し込めたりします。

ですがそんなことよりも重要なのはやっぱり空きです。特に繁忙期は本当に空きがありません。人気のシービューや1人部屋は常に不足がちです。繁忙期に留学する場合は最低でも3ヶ月前にはお申込していただくのがベストです。

遅くなってしまうとご希望の期間にお部屋がなかったり、希望のお部屋タイプがなかったりしてしまいます。

1-11 : 講師の訛り・発音は？

日本人が過剰に気にするこの問題は、恐らく自分が・もしくは日本人の発音が良くない、という意識の裏返しだと思っています。

もちろん講師は採用の段階で厳しくチェックしています。ですが訛りの無い英語とは何でしょうか？イギリス・アメリカ・オーストラリアとこの3つに分けただけでも既に大きな違いがあります。単にアメリカを見ただけでもテキサス訛りだとかLA訛りだとか考えだしたらキリがありません。

また世界の英語話者の大多数が所謂ネイティブではありません。日本人が気にする程、訛りというのはそこまで気にする必要はありませんし、実際、講師の英語はとても聞き取りやすくきれいです。

またフィリピン人の英語が訛りがひどくて通用しないようなのであれば、国の一大産業としてのコールセンターは成り立たなかったでしょう。

1-12 : 英語力はどう伸びる？ 期間はどれくらいが良い？

もちろん英語力の伸びはもともとのレベルや、留学中にどれだけ勉強したかにもよります。

まず、授業は全て英語で行われるので、みんな朝から必死に講師の英語に耳を傾けて頭をフル回転させます。これがものすごい疲れますが、継続は力なり、です。

4週間くらいこれをやっていると、突然、あ、英語聞けるな！という自分でも分かるほどの違いに気づきます。以前は言語として聞けていなかった英語が、言葉としてスッと認識できる感覚です。(もちろん完全に理解できるかは別の話ですよ)

スピーキングは残念ながらかなり時間がかかると見たほうが良いでしょう。

短期間が意味がないのかということそういうわけではなく、最低でも学習意欲や英語に対する認識など大きく変わります。やはり海外で学ぶ事自体には意味があります。

第一章:二 学校選定段階

1-13 : 気候について いつが良い?

フィリピンは年中夏の国ですが意外にもかなり時期の差があります。長く住んでいると「今日も寒いねー」なんて言葉が出るくらいです。

まず雨季と乾季に大別され、乾季は晴れ&晴れで無風です。風がないので室内は暑いと感じるかもしれません。雨季は毎日夕方になると短時間の土砂降りになります。風も出ます。こちらの雨は基本短時間で止み、一日中ダラダラ降っていることはかなり珍しいです。

ですが近年は乾季と雨季の差がなくなってきたとも言われたりします。

12月-1月は曇りがちで特に日が落ちると涼しくなります。窓を開けて寝ると寒いと思うかもしれません。なのであまり海やプールに向かない季節です。

2-5月はこちらの夏です。雨も風もなく、雨も無いので虫も非常に少ない季節です。海やプールに最適な季節ですが、風がないので暑いです。

1-15 : 週の途中入学 途中卒業は?

コースは週単位での販売になっています。日曜日チェックイン-土曜日チェックアウトで1セットですので、例えば仕事の都合で途中入学や途中卒業になってしまう場合は、そこも1週間分としてカウントされます。日割りの割引などはありません。

卒業も卒業式まで滞在できない場合は卒業式も行われません。

1-14 : リピーター特典は

直接的な特典としては入学金の全額免除が挙げられます。

また安くはないSSPの有効期間が半年なので期間中であれば再取得の必要がなく、またACRは期間が1年なのでこれまた期間中であれば再取得の必要がありません。

1-16 : チェックイン日- チェックアウト日は?

チェックインは日曜日、チェックアウトは土曜日です。それ以外の場合は延泊、前泊費用などが発生します。

また注意してほしいのが到着便の時間です。「土曜日の2355Hに到着だから学校に着くのは日付変わって日曜日だから日曜日イン」とはなりません。土曜日到着の便は土曜日扱いです。

第一章:ホ 学校選定段階

1-17 : 延泊や前泊について

チェックインは日曜日、チェックアウトは土曜日です。それ以外の場合は延泊、前泊費用などが発生します。

また注意してほしいのが到着便の時間です。「土曜日の2355Hに到着だから学校に着くのは日付変わって日曜日だから日曜日イン」とはなりません。土曜日到着の便は土曜日扱いです。

1-18 : 祝日など学校休校日のサービス

祝日などの学校休校日でも、滞在は可能ですし、ご飯や掃除・洗濯のサービスは予定に従って行われます。また学校にも必ず誰かスタッフはおりますが、平日と同様にはオフィスは稼働していません。

1-19 : キャンセルの場合は？

キャンセル規定に従って返金措置がなされません。返金がない場合もあります。

お申込前に必ずキャンセル規定を確認して下さい。

1-20 : 申し込み後の期間変更

申し込み後の期間の変更もキャンセル扱いとなります。申込みの期間で留学されない、ということでまずキャンセルをしてから再度お申込み、という流れになります。

必ず日程を確定してからお申込みをお願いします。とくに直前での変更には返金はほとんどありません。

第二章:イ 留学準備段階

2-1: アメニティや学校の貸出の品は?

学校の寮はリゾートホテルの敷地内にありますが、ホテルとは全く別の建物です。ですのでお部屋にはタオルやドライヤーなどといったアメニティの品物は一切ございません。トイレトペーパーのみ、例外として最初のひとつだけ備え付けてあります。以降補充はスーパーなどで購入の必要があります。

また貸出のドライヤーや扇風機、ポケットWi-Fiといったものもございません。

ですので、ご使用になれるものは全て日本から持参するか、現地で購入する必要があります。大抵のものは現地で購入可能ですが、こだわりのものや、お気に入りのブランドなどがある場合は日本から持参した方が良いでしょう。

電子機器については電圧の違いに注意が必要です。まず大抵、機器の破損・発煙などをおこします。第二章で詳細に説明していますので参照して下さい。

2-3: コンセントと電圧の違い 変圧器について

コンセントの形状は日本と同じですのでそのまま使えますが、電圧が異なります。

日本では100vですがフィリピンは220vと高く、アダプターなどで対応していないものは即破損・発煙・発火などを起こします。

今の時代、スマートフォンやパソコンなど大抵の電気機器にはアダプターが付いており220vも対応していますが、事前に必ず確認して下さい。

特に多い事例が、日本からドライヤーを持ってくる人ですが、ドライヤーは対応していないのがほとんどで大変危険なのでやめて下さい。

では変圧器を買えば良いのかというと、変圧器は大きく重く、値段もちょっとします。それくらいであれば、特にこだわらないのであれば現地でドライヤーを買ったほうが結果的に安く済みます。変圧器の出番はあまり無いです。

2-2: 事前の両替は必要か

フィリピンに到着する前に両替は基本的には必要ありません。初日に現地費用を納めて頂く前に現地の両替所に行きますので、その分はそこで両替することが出来ます。

レートの中でも現地でご案内する両替所の方が、日本や空港で両替するよりもずっと良く、その機会での両替をおすすめします。

どうしても不安な場合は1万円だけ両替しておくといいでしょう。

2-4: ピックアップの対応時間について

午前0時～午前10時に到着する便は対応していません。もし航空券や様々な事情でこの時間に到着してしまう場合は以下の選択肢があります。

1: 午前10時まで空港でピックアップを待つ

2: もしくは自身で学校に移動する。その場合は午前10時～18時の間で時間を事前に指定していただくようお願い致します。時間を指定していただかない場合、人員がピックアップ等で学校におらず、学校にいらっやっても入れません。

いずれにせよ、午前10時までは学校には入れないようになっていますので、ピックアップ対応している便を取るのが良いです。

前泊の場合も通常通りピックアップ対応していますが、イレギュラーな平日到着などの場合は事前にお問い合わせ下さい。

第二章: □ 留学準備段階

2-5: 到着時のご飯について

学校のご飯は決まった時間に提供されており、それに間に合う場合は到着後すぐでも食べることができますが、提供時間が過ぎている場合は提供されません。

昼ご飯は12-13時、晩御飯は17-18時です。到着してからも入国手続や税関、荷物の受取や移動で最低でも到着時間から1時間以上は学校到着までかかると考えて下さい。

成田-セブの直行便は機内食があるとおもいますが、中途半端な時間だと思えます。現地到着後にその為だけに両替をして、スーパーやレストランですぐに食事を、というのも大変でしょうから、日本でパンなどの軽食を買って荷物に入れて持ってくると良いでしょう。

2-6: 写真の準備は必要か

書類申請用など、全て学校での申請に使う写真は学校にて無料で撮影する写真を利用しますので、ご用意して頂く必要はございません。

2-7: 持ち物リスト (虫除け・生活必需品は買える?)

大抵のものが購入することができるのでそこまで真剣に悩む必要はありませんが、こだわりものや、メーカー・ブランドものなどは持参したほうが良いでしょう、という感じ。

電子機器などは電圧の違いに気をつけて下さい。ドライヤーは特に危険です。普段からパソコンやタブレットを使用する人は持ってくるといういろいろ便利なのでおすすめします。

衣類は最低でも1週間分は用意しましょう。雨で乾きが悪かったり、マリンスポーツで必要になったりと不足するかもしれません。

- ・サングラス…こっちでも買える
- ・日焼け止め…こっちでも買える
- ・ムヒなどの虫さされ塗り薬
- ・虫除けローション…スプレーは飛行機NG
- ・ホチキス…整理に便利。買える。
- ・海外旅行保険証
- ・歯みがきセット…お気に入りのものを。
- ・ワックス、化粧水など…こっちでも買える

2-7: 持ち物リスト (虫除け・生活必需品は買える?)

・トータルケアセット…毛や爪などのケア
・ポケットティッシュ…外出時のトイレとか
・シャンプー、リンス…こっちでも買える
・石鹸、ボディソープ…こっちでも買える
・スポンジ…これも買える
・洗顔用品…お気に入りのものがあれば
・ヒゲソリ…普通に買えるし安い
・シェービングジェル…買える
・コンタクトレンズ…必要な方は。メガネの予備としても有能。特にマリンスポーツをする予定の人は忘れずに。

- ・バスタオル…かさばるので捨てて帰っても
- ・ハンドタオル…汗をかくので
- ・水着…こっちでも買って良い
- ・カーディガン…外出先でエアコン対策に
- ・パジャマセット…寝る時汗かくので
- ・予備電池…こっちでも買える
- ・筆記用具…これは日本から持参をおすすめ
- ・文法書や単語帳など…やはり日本語で
- ・電子機器…カメラ・スマホ・パソコン・タブレットなど。充電器も忘れないこと。

第三章:イ 初日の流れ

3-1 : 初日の流れ

初日に授業がないことは1番最初にご説明しましたが(有料オプションにて追加可能)、初日の流れは下記のとおりです。

0700~0800 朝ごはん
1000 ロビーに集合、テストとオリエンテーション
1200~1300 昼ごはん、昼休み
1300 スピーキングテスト
終了後ロビー集合、買い物&両替ツアー
1630 現地費用お支払い
1700~1800 晩ごはん
1800 ロビーにてウェルカムパーティ

3-2 : パスポートの扱い

パスポートは学校到着後お預かりとなります。SSPの申請には原本の提出が必要となるためです。

3-3 : 現地費用について

・お部屋保証金 : 100USD or 4,500php
お部屋保証金は電気代や、物損があった場合の補償を差し引いて、卒業時に残額が返還されるものでございます。

・SSP : 6500 php
SSPの期限は半年間有効となっております。
SSPはフィリピンで適法に留学するために必須の資格でございます。

・管理費 : 350 php/週

・テキスト代 : 1冊200-600ペソ。
希望の科目やコースによります。

電気代 : メーターを確認し、セキュリティーデポジットを使い切った場合別途の請求がございます。ルームメイトがいれば割り勘。

第四章:イ 生活

4-1 : 事前に時間割を 教えてください

時間割は初日のレベルチェックテスト後に組まれます。生徒さんのレベルだけでなく、講師の空き状況や希望する科目・コースなども勘案されますので、それまではわかりません。

1日8コマのBタイプの場合は朝8時開始で授業は16時50分までありますが、1日6コマのAタイプの場合は開始時間や終了時間もわかりませんし、途中で空きコマができる可能性もありますのでご了承下さい。

4-2 : ジム・プール 自習室について

ジムは学校内に設置されており、ランニングマシンからウェイトトレーニングの機材まで一通り揃っています。サンダルでの使用は禁止ですから室内履きを用意して下さい。

プールは隣のEGIホテルのプールが使えます。基本有料ですが、土日のみ無料でプール券を配布していますので生徒であれば無料で使えます。平日でもホテルで購入すれば使用可能です。

自習室は朝8時～23時まで使用可能です。Wi-Fiもバッチリ入りますし、生徒用のパソコンが2台設置されています。

4-3 : 食事について

食事は土日祝日も含め、毎日3食提供されますので、外食しなければ食費はかかりません。

料理は洋風料理とフィリピン料理で、韓国料理などのような辛いものは出されません。

野菜やフルーツを多く出すようにしており、特にパイナップルは好評です。

4-4 : 洗濯について

各人に洗濯かごが1つお部屋に設置されており、週2回収されます。選択された後、お部屋のバルコニーの物干しスペースで干されます。後ほど回収されてたたまれますが、自分のタイミングで取り込んで貰っても構いません。

ただ、お預かりする洗濯物の量が多く、また洗剤も現地の物を使っていますので、万が一無くなったり傷んだりしたら困るようなものはお出しにならないで下さい。

女性下着・女性水着の受付はしておりませんので、各自での洗濯をお願いします。

生徒さんが使える洗濯機は設置されておりません。

第四章: □ 生活

4-5 : 掃除について

掃除は週2回、ハウスキーパーが授業中に行います。掃除中に立ち会う必要はありません。週2回の掃除のうち、どちらか1回でベッドシートなどのリネンの交換が行われます。

4-6 : 治安について

学校の位置するマクタン島はリゾートエリアということもあり、またセブに比べて田舎であるためセブシティと比べても格段に治安が良いです。

とはいえここは日本ではなくフィリピンです。常に油断すること無く生活するようにして下さい。

幸い、今まで学校の生徒さんが重大な犯罪に巻き込まれたことはありませんが、携帯電話のスリ被害や紛失が時々あります。

モールやレストランでは所持品に常に気を配ることと、お祭りやナイトクラブなどの人混みに行くときは、極端な話、持っていけないくらいの対策をとりましょう。

4-7 : 電気代はいくらくらい？

電気代はリゾートエリアかつ島ということで、日本と比べ25%増しくらいです。1番電気代が変わってくるのはエアコンの使用です。

今は懐かしい室外機と一体型のエアコンの為、効果の割に電気を食います。1日中つけっぱなしにして生活すると1ヶ月で1万ペソ以上の電気代になってしまいます。

使用時間だけでなく、設定温度によっても差が出ますので、極端に温度を下げすぎないようにしたりする必要があります。

1日5-6時間回して1ヶ月で3500ペソくらいという計測結果があります。

使わない場合は1ヶ月で1000ペソ以下程度。

ともあれ我慢しすぎて寝れなかったり、熱中症になっては大変ですので、ルームメイトや電気メーターと相談しながら使ってください。

電気代は現在いくらか常に確認することが出来ます！

4-8 : 部屋の設備

お部屋の共通の設備は以下のとおりです。

- ・温水シャワー
- ・水洗トイレ
- ・Wi-Fi環境
- ・セイフティボックス
- ・冷蔵庫
- ・エアコン

※ガスコンロはある部屋とない部屋が有りますのでご希望の場合はお問い合わせ下さい。

※扇風機がすでにある部屋もありますが、以前の住人が残していったもので、学校装備品ではありません。ない場合はご自身での購入をお願いしております。

第四章:八 生活

4-9 : シャワーについて (水圧・お湯)

残念ながらフィリピンの水圧は弱く、とてもではないですが日本とは比べ物になりません。ちゃんと水量は有るのでシャワーとしては問題なく使うことができます。

私が日本に帰国した際に日本のシャワーを浴びると強すぎて痛いので数日は全開では浴びれない、というとなんとなく分かるかもしれません。異常に出ない場合は故障の場合がありますのでお教え下さい。

お湯は各部屋にヒーターがついており、いつでもお湯を使うことができます。ヒーターが故障している場合はすぐにお教え下さい。水シャワーは風邪をひいてしまいます。

4-10 : トイレについて

トイレは日本よりも吸い込みは圧倒的に悪いです。油断して紙を流しすぎるとすぐに紙詰まりします。特に女の子は多くの紙を一度に使いますので詰まらせる傾向にあります。詰まらせてしまう場合は、紙を使いすぎる傾向にあるのだと思います。諦めて紙は流さず、備え付けのゴミ箱に捨てて下さい。自分の排泄物が他人の目に晒されるだけでなく、ルームメイトにも迷惑をかけることとなります。注意して下さい。

4-11 : インターネット環境 Wi-Fi環境について

Wi-Fiは教室など学校のエリアから各部屋まで全てをカバーしています。

速度に関してはフィリピンですので常に安定して速いというわけではありませんが、遅いときでもLINEやスカイプなどのメッセージ程度でしたら大丈夫です。また万一、お部屋の回線がダウンしていてもロビーや自習室などは別回線なのでそちらを利用することも出来ます。

YouTubeなどの動画サイトの視聴に関してはほぼ問題なく行えます。フィリピンの回線の傾向として、お休みの日や夜間の方が繋がりがやすい傾向にあり、雨が降ると極端に遅くなる場合があります。

何れにせよフィリピンの語学学校レベルではかなり良い方だと思いますが(代理店様調べ)、日本並で考えてしまうと遥かに及びません。

4-12 : キッチンが欲しい!

学校は土日祝日も含め毎日3食提供されるので、あまり自炊をしたいという希望は聞きませんが、それでもキッチンが欲しいという場合はお申込前にお問い合わせ下さい。

お部屋にはキッチンのある部屋とない部屋があります。希望される場合はある部屋の手配が必要ですので必ず事前に申し付け下さい。

またキッチンがあればすぐに使えるわけではありません。別途ガス tank の搬入が必要になり、搬入毎に1000ペソの費用がかかります。

ガス tank を搬入しても終わりではありません。調理器具や食器などの貸出しもありませんので、こちらもご自分で用意して頂く必要があります。

第四章:二 生活

4-13 : コースの途中変更

値段が低くなるコースへの変更は、講師に空きがある限りにおいて対応可能ですが、値段の差額にキャンセル規定が適用され、返金がほぼ無いか全く無いことが殆どです。

値段が同じコースへの変更は、講師に空きがある限りにおいて対応可能です。

値段が高くなるコースへの変更は講師に空きがあり、かつ差額をお支払いいただければ可能です。

4-14 : 授業形態について

授業は1コマ50分、講師の部屋が決まっています。時間になったらその部屋に移動してもらいます。

4-15 : タクシーについて 乗り方は？

留学中は安全のためにタクシーを利用して下さい。

タクシーを利用する場合は、まずは乗る前に行き先を告げて下さい。遠いところやあまり人が多くないところだとタクシーの運転手が嫌がり、行ってもらえません。また、運転手が場所を知らないこともあるので、事前に場所は把握しておきましょう。

次にメーターを使用するように告げます。その段階で遠い場所だったり、夜間だったりするとメーターではなく値段交渉制だったり、メーター+いくら、と言われる場合があります。自分の事情や相場などを考えて良ければ乗りましょう。

メーター使用を断られたり、値段交渉の段階で運転手が折れなかったり、目的地には行けないことを告げられた場合は、別のタクシーを探しましょう。一度乗ってしまうと降りづらかったり、荷物を積んだまま走り去られる事に注意

4-16 : 学校周辺の施設

学校周辺にはレストラン(和食・イタリアン・韓国・フィリピン)など多数のレストランが有り、スーパーマーケットも2店、セブンイレブン、両替所、有名リゾートホテル、ダイビングショップなど、全て徒歩圏内にあります。

生活する上で特に困ることはないでしょう。

第四章:ホ 生活

4-17 : ボランティア活動 はあるの？

学校では特に活動やご案内などはしておりません。インターネットやフリーペーパーなどに情報が掲載されておりますのでそちらをご参照下さい。

4-18 : 現地の携帯電話 は必要か？

正直なところ、余り必要性は感じません。大抵はWi-Fiが繋がるところでメッセージのやりとりも可能だからです。

こちらで電話などを頻繁にしたりする必要がある方であれば必要だと思います。Wi-Fiのないところでインターネットに接続するためにこちらのSIMカードを購入して、というのは必要があるかもしれませんが、日本で使っている携帯がシムフリーではない場合はここで携帯の購入の必要性が出るでしょう。

実際にこちらに来てみて、必要だなあと思ったら購入するくらいの気持ちでいいと思います。日本と違ってフィリピンはWi-Fiの入るところは多いです。

4-19 : 荷物を送る場合

荷物を送る場合は必ずドアツードアのサービスを利用して下さい。フィリピンでは特に考えないで荷物を送ると全て郵便局留めになります。通常のサービスでは個別の家まで配達しません。

小包等も同様です。必ず学校の住所まで配達されるサービスを選んで下さい。

4-20 : 服装は？

暑い国なので、基本は薄手の格好になると思います。ですが、教室やモールではエアコンが肌寒いと感じることも有るでしょうから、長袖の羽織れるものを用意しましょう。

なるべく簡素な格好のほうが良いです。過度な装飾品等は犯罪に巻き込まれる可能性を高めます。

また、学校ですので過度に肌を露出しているような服装もやめて下さい。

第四章:へ 生活

4-21 : 週末の過ごし方

週末は授業がありませんので、それを利用して自分の勉強をしても良いですし、観光やアクティビティに出かけるのも良いでしょう。

セブシティへはタクシーで40-60分ほどで行けますので、買い物や観光などを楽しむのも良いと思います。

また学校のすぐそばの桟橋からダイビングやアイランドホッピングに出発できますので、せっかくのセブらしい海のアクティビティを楽しんでもよいでしょう。

学校でも週末にはアクティビティを用意しています。困ったらこれに参加してみてもは。

4-22 : アクティビティについて

学校にはアクティビティはいろいろありますが、基本的には下記のとおりです。

月曜日：新入生歓迎会

火曜日：ズンバ

水曜日：スポーツ大会やゲーム大会ナショナルティ・デイなど各種アクティビティ。

木曜日：ズンバ

金曜日：卒業式

土曜日：アイランドホッピングやジンベイツアーなどの観光。

日曜日：特になし

もちろんアクティビティは参加自由の希望制です。

4-23 : 日本人スタッフ はいるの？

はい、学生スタッフを含めおります。24時間誰かしら日本人スタッフは滞在しています。

4-24 : 病気になったら？

困ったことになってしまうので海外保険は入ってきて下さい。

スタッフの付き添いで病院へ行きます。学校から15分ほどのマクタンドクターズという病院で、入院設備もあります。

医師の往診も可能です。こちらも海外保険必須です。医師の都合や症状によっては病院へ行く必要がある場合もあります。

軽い症状でも気軽に診てもらえるので便利です。

第五章:イ 帰国時

5-1 : 空港へ

お帰りの際は空港への送りはありません。タクシーなどでご自身で向かって頂く形になります。

どうしても何かの手配が必要な場合は、ドライバー付きレンタカーの手配になりますが、料金はレンタカー会社によります。

5-2 : いくら残しておけば良い?

基本的には空港利用税750ペソに空港までの交通費がかかります。空港でご飯を食べたり飲み物を買ったりするならその分も必要になるでしょう。

空港までのタクシー代は170ペソ前後で、15-20分程です。

5-3 : チェックアウトの時間は?

例えば土曜日チェックアウトであれば、土曜日の22時までとなります。

この時間を超える場合は延泊料金が発生いたしますので、必ず22時までに退寮できるような航空券を取得して下さい。

学校の住所など

学校所在地: Genius English Proficiency
Academy, Corp.
EGI Hotel Bldg. 1, Looc, Maribago,
Lapu-lapu City, 6015 Cebu Philippines

電話(オフィス): 032-236-1442